

令和4年6月20日

交通事故概況

令和4年5月中計上数(確定数)

警察本部交通部交通企画課

北海道の交通事故概況（5月中計上数（確定数））

1 令和4年5月中の交通事故発生状況

区分\内容	5月中		5月末	
	発生数	前年比	発生数	前年比
発生件数（件）	636	159	3,402	130
死者数（人）	11	4	38	-1
傷者数（人）	743	188	3,996	164

[過去10年、5月中及び年間死者の推移]

区分\年別	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	過去平均		R4年
											10か年	5か年	
5月中死者	22	9	19	17	9	11	20	12	10	7	14	12	11
5月末死者	66	48	61	60	52	41	56	42	44	39	51	44	38
年間死者	200	184	169	177	158	148	141	152	144	120	159	141	—

都道府県別（5月中）

順位	1	2	3	4
都道府県名	愛知	神奈川	千葉	東京 北海道
死者数	15	13	12	11

都道府県別（5月末）

順位	1	2	3	4	5	8
都道府県名	愛知	大阪	千葉	東京	埼玉	北海道
死者数	58	54	51	49	47	38

2 交通死亡事故の発生状況

(1) 5月中の死亡事故(死者11人)

- 事故類型別：車両単独が6人(54.5%)、人対車両、正面衝突が各々2人(18.2%)
- 道路別：国道が6人(54.5%)、道道、その他の道路が各々2人(18.2%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点、非市街地直線、非市街地カーブが各々3人(27.3%)
- 発生時間別：8～10時が5人(45.5%)が12～14時が2人(18.2%)
- 第一当事者年齢別：高齢運転者の死者が4人(36.4%)、40歳代運転者の死者が3人(27.3%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が4人(36.4%)、最高速度が3人(27.3%)
- 死者年齢別：高齢者の死者が5人(45.5%)、40歳代の死者が4人(36.4%)

(2) 5月末の死亡事故(死者38人)

- 事故類型別：
 - ・ 車両単独が12人31.6%（うち最高速度が5人41.7%）
 - ・ 人対車両が10人26.3%（うち前方不注意が4人40.0%）
 - ・ 正面衝突が8人21.1%（うち前方不注意、操作不適が各々4人50.0%）
- 道路別：
 - ・ 国道が17人44.7%（うち正面衝突7人41.2%）
 - ・ 市町村道が10人26.3%（うち人対車両が6人60.0%）
- 地形・道路形状別：
 - ・ 非市街地直線が12人31.6%（うち車両単独が6人50.0%）
 - ・ 市街地直線が9人23.7%（うち人対車両が4人44.4%）
- 発生時間別：
 - ・ 8～10時が8人21.1%（うち車両単独が4人50.0%）
 - ・ 10～12時が7人18.4%（うち正面衝突が4人57.1%）
- 第一当事者年齢別：
 - ・ 高齢運転者による死者が15人39.5%（うち正面衝突が5人33.3%）
 - ・ 40歳代運転者による死者が8人21.1%（うち車両単独が4人50.0%）
- 第一当事者違反別：
 - ・ 前方不注意が11人28.9%（うち人対車両、正面衝突が各々4人30.8%）
 - ・ 操作不適が7人18.4%（うち正面衝突が4人57.1%）
- 死者年齢別：
 - ・ 高齢者の死者が20人52.6%（うち人対車両が7人35.0%）
 - ・ 40歳代の死者が9人23.7%（うち車両単独が4人44.4%）
- シートベルト着用者：
 - ・ 自動車乗車中の死者19人中、シートベルト非着用者は6人(31.6%)であり、このうち4人（運転席に乗車）はシートベルトを装着していれば助かった可能性が高い。

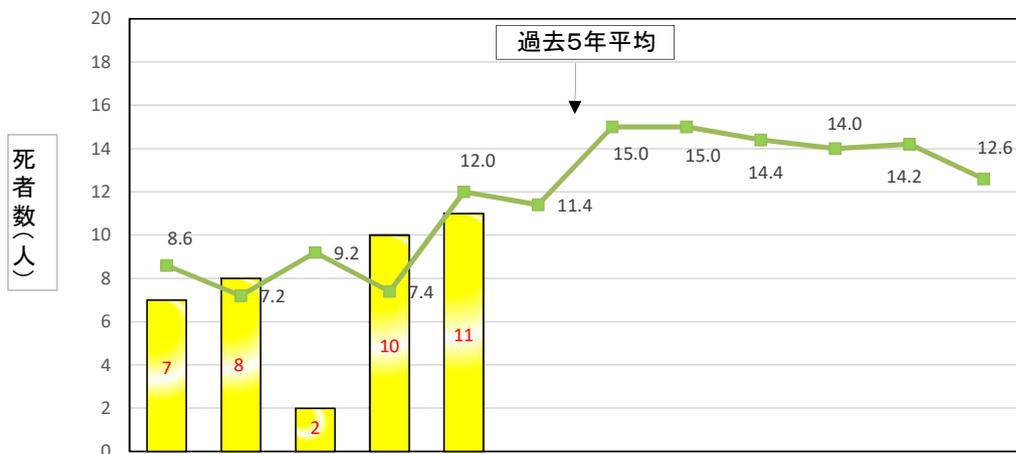
(3) 方面別発生状況

5月中の死者数は旭川方面が5人(45.5%)、札幌方面、釧路方面が各々3人(27.3%)となっている。
5月末の死者数は札幌方面が21人(55.3%)、旭川方面が9人(23.7%)、釧路方面が4人(10.5%)、函館方面が3人(7.9%)、北見方面が1人(2.6%)、となっている。

方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比	方面別\区分	発生件数	前年比	死者数	前年比	傷者数	前年比		
														5月中	全道
	札幌方面	439	103	3	-2	511	124		札幌方面	2,540	208	21	3	2,961	235
	函館方面	63	20		-1	75	23		函館方面	240		3	-3	295	9
	旭川方面	50	19	5	5	59	23		旭川方面	268	-50	9	5	330	-57
	釧路方面	67	12	3	2	75	10		釧路方面	256	-43	4	-4	286	-47
	北見方面	17	5			23	8		北見方面	98	15	1	-2	124	24

(4) 月別発生状況の推移

5月中の死者数は11人で過去5年平均12.0人を下回っている。
5月末の死者数は38人で過去5年平均44.4人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和4年	7	8	2	10	11								38
年間累計	7	15	17	27	38								
過去5年平均	8.6	7.2	9.2	7.4	12.0	11.4	15.0	15.0	14.4	14.0	14.2	12.6	141.0
累計平均	8.6	15.8	25.0	32.4	44.4	55.8	70.8	85.8	100.2	114.2	128.4	141.0	

(5) 都道府県別死者

5月中は愛知県が15人で最も多く、次いで神奈川県が13人、千葉県が12人で北海道は11人で4番目となっている。
5月末は愛知県が58人で最も多く、大阪府が54人、千葉県が51人、東京都が49人で北海道は8番目で38人となっている。

区分\都道府県	愛知	神奈川	千葉	東京	北海道	埼玉	大阪	兵庫	茨城	岐阜	全国
5月中死者数	15	13	12	11	11	10	9	9	9	8	214
ワースト順位	1	2	3	4	4	6	7	7	7	10	-
前年比	4	6	6	4	4	0	-1	4	4	1	31
増減率(%)	36.4	85.7	100.0	57.1	57.1	0.0	-10.0	80.0	80.0	14.3	16.9

区分\都道府県	愛知	大阪	千葉	東京	埼玉	神奈川	兵庫	北海道	岡山	茨城	全国
5月末死者数	58	54	51	49	47	45	43	38	33	31	967
ワースト順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-
前年比	18	-5	1	-2	-4	0	1	-1	12	8	-29
増減率(%)	45.0	-8.5	2.0	-3.9	-7.8	0.0	2.4	-2.6	57.1	34.8	-2.9

3 死亡事故の特徴

(1) 道路別

国道が17人(44.7%)で最も多く、次いで市町村道が10人(26.3%)となっている。

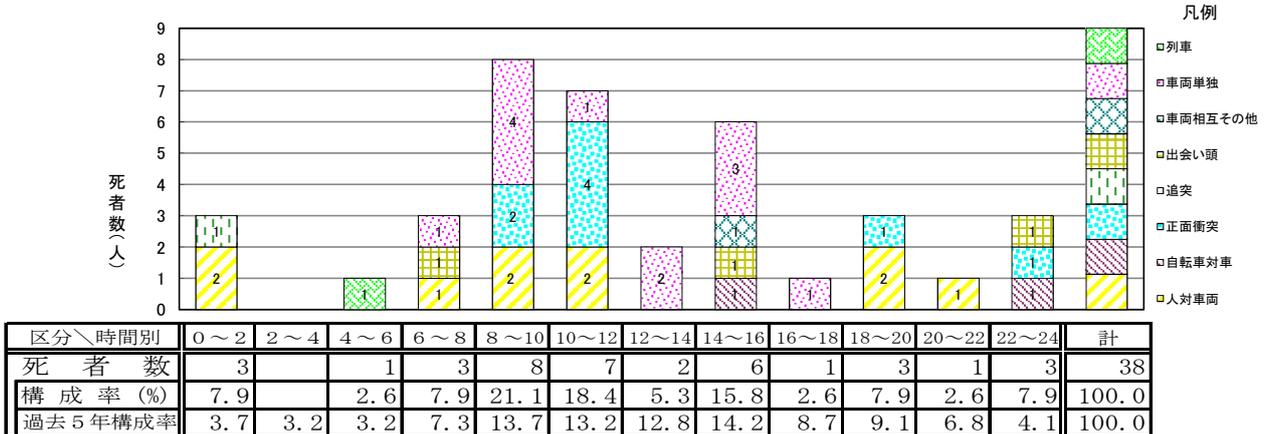
- ・ 国道は非市街地直線、非市街地カーブが各々5人(29.4%)
- ・ 市町村道は市街地交差点が4人(40.0%)となっている。



(2) 時間別

8～10時が8人(21.1%)で最も多く、次いで10～12時が7人(18.4%)となっている。

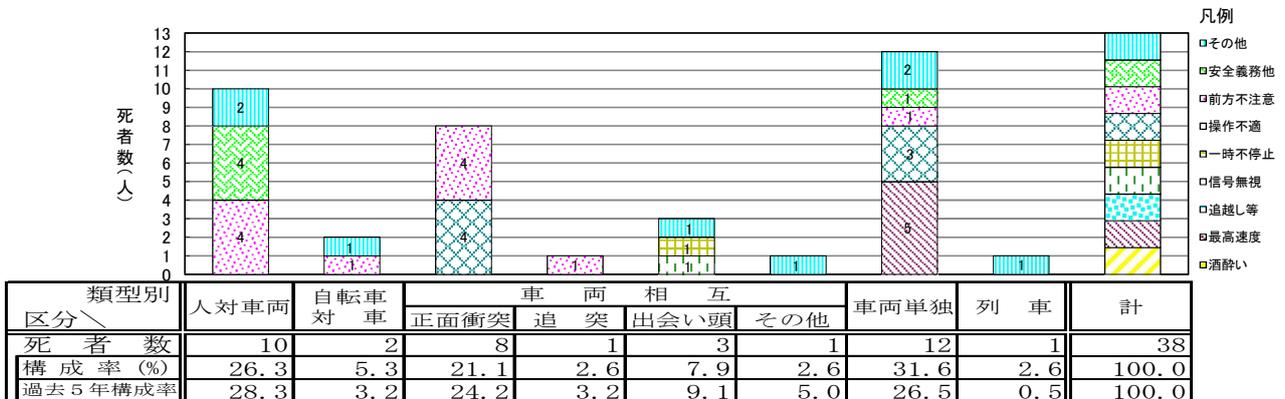
- ・ 8～10時は車両単独が4人(50.0%)、人対車両、正面衝突が各々2人(25.0%)
- ・ 10～12時は正面衝突が4人(57.1%)、人対車両が2人(28.6%)



(3) 事故類型別

車両単独が12人(31.6%)、人対車両が10人(26.3%)となっている。

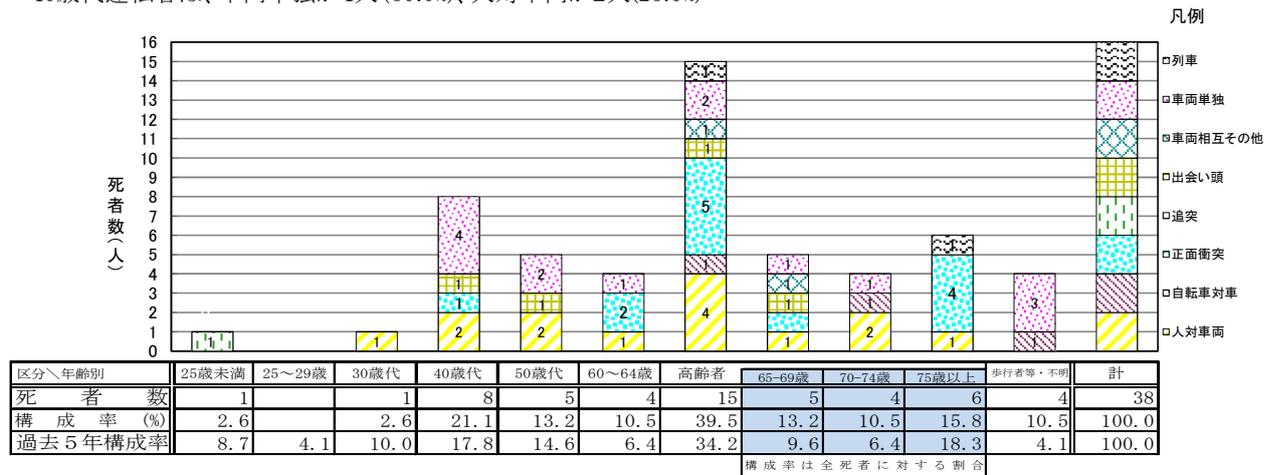
- ・ 車両単独は、最高速度が5人(41.7%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が4人(40.0%)



(4) 第一当事者の年齢層別

高齢運転者によるものが15人(39.5%)、40歳代運転者が8人(21.1%)となっている。

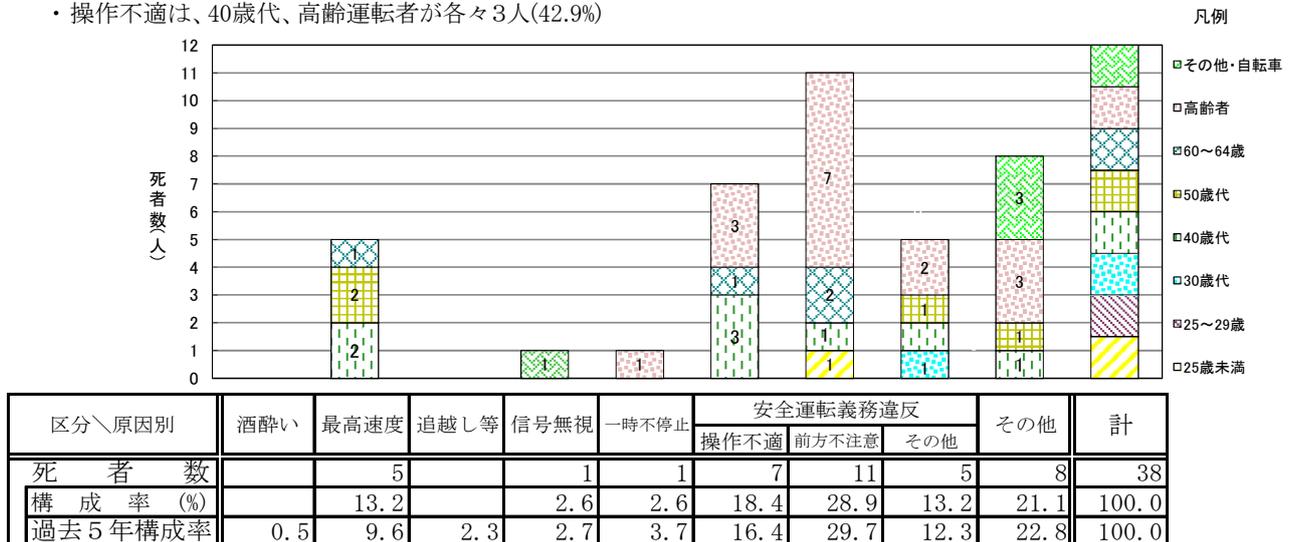
- ・ 高齢運転者は、正面衝突が5人(33.3%)、人対車両が4人(26.7%)
- ・ 40歳代運転者は、車両単独が4人(50.0%)、人対車両が2人(25.0%)



(5) 第一当事者の違反(原因)別

前方不注意によるものが11人(28.9%)、操作不適が7人(18.4%)

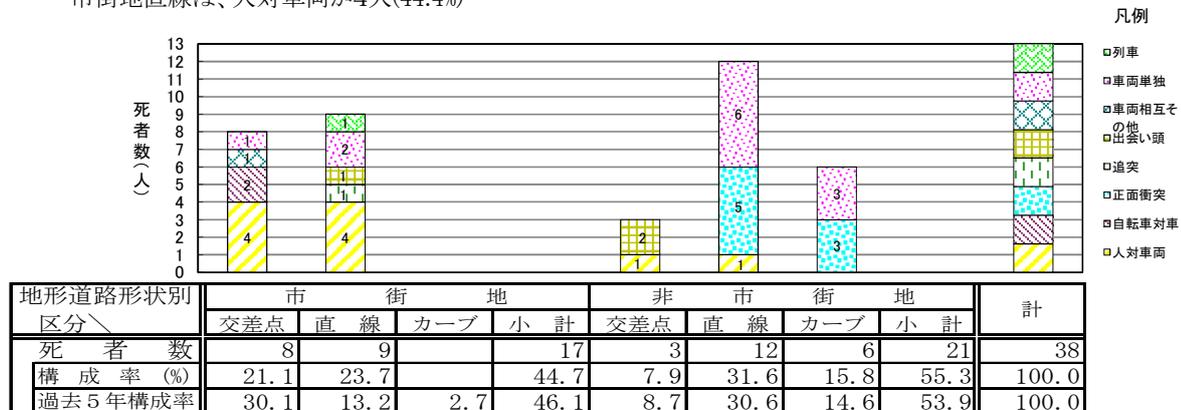
- ・ 前方不注意は、高齢運転者が7人(63.6%)
- ・ 操作不適は、40歳代、高齢運転者が各々3人(42.9%)



(6) 地形・道路形状別

非市街地直線が12人(31.6%)で、市街地直線が9人(23.7%)。

- ・ 非市街地直線は、車両単独が6人(50.0%)
- ・ 市街地直線は、人対車両が4人(44.4%)

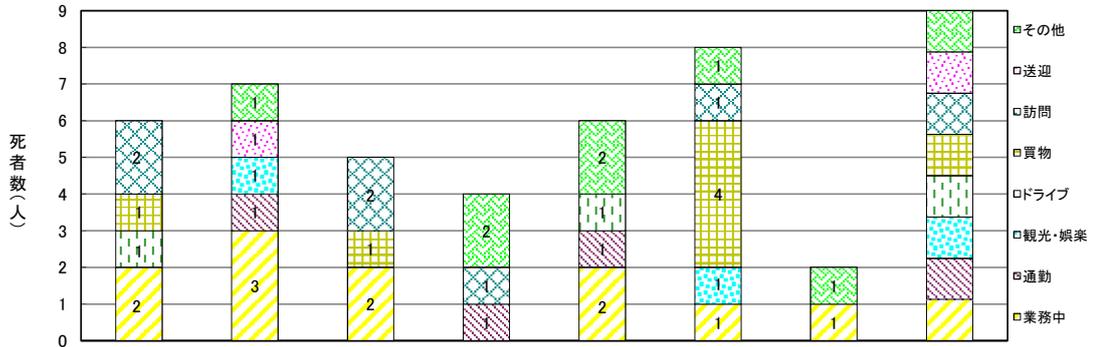


(7) 曜日別

金曜日が8人(21.1%)、月曜日が7人(18.4%)となっている。

- ・ 金曜日は買物が4人(50.0%)
- ・ 月曜日は、業務中が3人(42.9%)

凡例



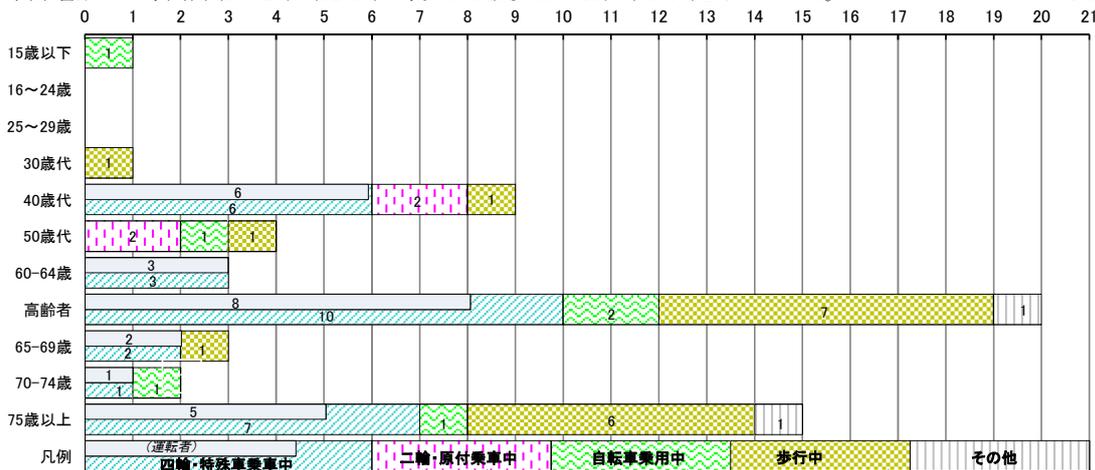
区分\曜日別	日	月	火	水	木	金	土	計
死者数	6	7	5	4	6	8	2	38
構成率 (%)	15.8	18.4	13.2	10.5	15.8	21.1	5.3	100.0
過去5年構成率	13.7	11.4	14.6	12.3	15.1	20.5	12.3	100.0

(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が19人(50.0%)で最も多く、歩行中が10人(26.3%)となっている。

- ・ 四輪乗車中は、高齢者が10人(52.6%)、40歳代が6人(31.6%)
- ・ 歩行中は高齢者が7人(70.0%)
- ・ 年齢層別では、高齢者が20人(52.6%)で、うち75歳以上が15人(75.0%)となっている。

死者数(人)



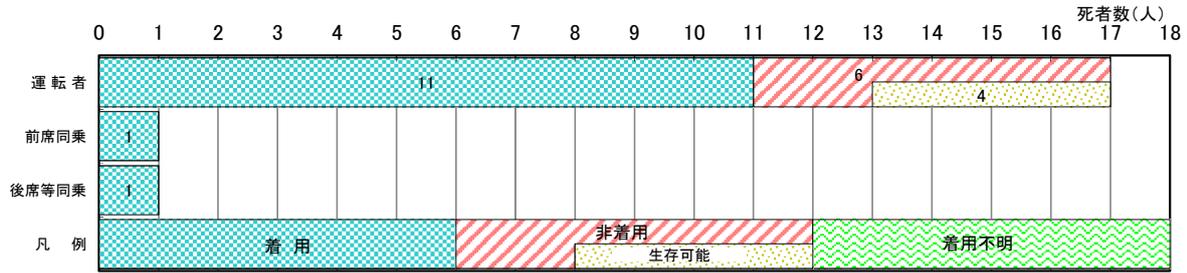
状態別 年齢層別\		四輪乗車中 (特殊車を含む)	二輪乗車中 (原付を含む)	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	死者数			1			
16~24歳	死者数								5.5
25~29歳	死者数								2.7
30歳代	死者数				1		1	2.6	5.9
40歳代	死者数	6	2		1		9	23.7	11.0
50歳代	死者数		2	1	1		4	10.5	11.9
60~64歳	死者数	3					3	7.9	5.5
高齢者	死者数	10		2	7	1	20	52.6	56.6
65~69歳	死者数	2			1		3	7.9	11.0
70~74歳	死者数	1		1			2	5.3	7.3
75歳以上	死者数	7		1	6	1	15	39.5	38.4
計	死者数	19	4	4	10	1	38	100.0	
	構成率	50.0	10.5	10.5	26.3	2.6	100.0	—	—
	過去5年構成率	58.9	6.8	4.1	29.2	0.9	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

(9) シートベルト着用状況別

ア 乗車区分別

自動車乗車中の死者19人中、シートベルト非着用者は6人(31.6%)となっている。
非着用者4人(運転席)は、車両の破損状況等から見て、シートベルトを着用していれば生存していた可能性が高い。



区分	四輪乗車中等	着用				非着用				着用不明
		計	同乗者		計	運転者 生存可	同乗者(助手席)		同乗者(後部席) 生存可	
			運転者	助手席 後部席			生存可	生存可		
令和4年	19	13	11	1	1	6	6	4		
構成率(%)	100.0	68.4	84.6	7.7	7.7	31.6	100.0	66.7		

イ 年齢層別

シートベルト非着用者を年齢層別にみると、40歳代が4人(66.7%)、60～64歳、高齢者が各々1人(16.7%)となっている。

区分\年齢別	25歳未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	65～69歳	70～74歳	75歳以上	その他・不明	計
	シート着用				2		2	9	2	1	6	
構成率(%)				15.4		15.4	69.2	15.4	7.7	46.2		100.0
シート非着用				4		1	1			1		6
構成率(%)				66.7		16.7	16.7			16.7		100.0

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
高齢者の内訳の構成率は合計数に対する割合。

ウ 損傷加害部位別

シートベルト非着用者6人の人身損傷加害部位をみると、車外放出が2人、車外他、ハンドル、座席、その他が各々1人となっている。

区分\部位別	車外放出	車外他	ハンドル	フロントガラス	計器盤	ドア・窓	柱	天井	座席	車内他	その他	計
シート着用	1		3					2	2	4		12
構成率(%)	8.3		25.0					16.7	16.7	33.3		100.0
シート非着用	2	1	1						1		1	6
構成率(%)	33.3	16.7	16.7						16.7		16.7	100.0
運転者	2	1	1						1		1	6
構成率(%)	33.3	16.7	16.7						16.7		16.7	100.0
同乗者												
構成率(%)												

注 構成率は区分別の合計数に対する割合。
但し、ベルト非着用の運転同乗者別の構成率は、ベルト非着用の合計数に対する割合。